

令和4年度 高志中学校2年「高志学」伝統工芸士研修

- 1 期 日 令和4年5月19日(木)
- 2 目 的 (1) 産地に出向き伝統工芸士の話を聞いたり、名工の技を見学・模擬体験したりすることにより、ふるさと福井の文化・産業について理解を深める。
(2) 共同学習を通して同学年生徒同士の親睦を深め、相互理解を図る。
- 3 場 所 [Aコース] (AM)うるしの里会館、TOURISTORE (PM)越前陶芸村
[Bコース] (AM)越前和紙の里、五十嵐製紙 or 石川製紙 (PM)越前陶芸村
[Cコース] (AM)タケフナイフビレッジ、龍泉刃物 (PM)越前陶芸村

4 参加生徒 85名

5 報 告

丹南地区の様々な種類の施設を訪問し、多くの生徒があらためて気づくことも多く、充実した研修となりました。

[うるしの里会館(越前漆器伝統産業会館)]

越前漆器協同組合事務局次長の久保諭隆様から漆器産業の歴史や製造・加飾について、漆器やパネルを用いて説明を受けました。生徒の久保様への質問の回答で「漆器づくりは火や電気を使用しないので、環境に優しい」ことや「漆器、器として使用されるシーンが減少している中で、腕時計やボトルなど、形を変えて漆を使ってもらえる形を提供したい」ことを伺い、伝統工芸がSDGsの考え方や時代に合わせて変化していることを学びました。



[TOURISTORE]

TOURISTOREの店舗見学の後、TSUGI代表の新山直広様から「福井県の伝統工芸はその時代に合わせた、生きるもの作りをしている『産業工芸』であり、TSUGIは半径10km圏内に7つの地場産業がある丹南地区を『創造的な産地』にすることが使命だ」というお話がありました。生徒の質問に対して「挑戦しないことの方が怖く、小さく走っていく中で『行ける』と思ったタイミングで一気に走り抜けることが大事」「アイデアもセンスも知識が大事で、いいものを見たり、見方を変えてみたりする」との回答をいただいたことが特に印象に残りました。



[越前和紙の里]

紙の文化博物館では、和紙の生産の始まった歴史やこれまでに制作されていた現代の和紙製品を見ることができました。和紙の歴史を学んでいく中で、大野市の地名と越前市の地名の共通点に気づいた生徒がいました。生徒は施設職員の方への質問により、和紙を生産をしている地域との共通点があることに気づくことができました。どの生徒も抱いた様々な疑問を担当者に投げかけ、新しい発見をすることができたようです。



[株式会社五十嵐製紙]

工房の見学の後、伝統工芸士・紙漉き職人の五十嵐匡美様にインタビューを行いました。生徒は五十嵐様から「生の声」を聴き、伝統ある越前和紙を未来に残すための様々な取り組みを知ることができました。その中で、「紙漉きが好き」という熱い思いを持ち、国内外で和紙を使っていただくお客様のために、日々、最高の和紙創作に励んでいることに職人魂を感じることができました。



[石川製紙株式会社]

便せんやはがき、建築分野の襖や内装材だけでなく、越前和紙が様々な分野で広く使用されていることを知ることができました。代表取締役の石川浩様のお話の中で、「お客様が求める和紙作りのために、原料の配合を納得がいくまで試行錯誤する」という、職人としての“妥協なきこだわり”が印象に残りました。



[タケフナイフビレッジ]

打刃物について説明を受けた後、工場を見学させていただきました。最近では主流となったオープンファクトリーをナイフビレッジでは30年前から日常的に行っているそうです。生徒たちは、実際の工場での職人の方々の姿だけでなく、作業工程から生まれる熱気を実際に感じる事ができました。また、ナイフビレッジでは小さな会社が集まっているという利点を生かして、お互いに交流しながら作業を行っていることを知ることができました。



[株式会社龍泉刃物]

資料館で越前打刃物の歴史について学び、その後、実際に工場を見学させていただきました。研ぎ作業や模様入れなどの作業を見ることができました。用途に合わせて、違う砥石を使うことなどを学びました。そして、1人ずつ、ベルトハンマーと包丁の試し切りを体験しました。生徒たちは、ベルトハンマーでは手と足を同時に動かしながら行う作業の難しさを知ることができました。また、様々な種類の包丁でニンジンやスポンジの試し切りをし、切れのよさにとても感動していました。最後に社長から、商品開発についてや「自分のブランドを広めたい」という経営者の思いを伺うことができました。



[越前陶芸村]

日本六古窯の一つである越前焼きの地元の粘土を使って、手ひねり体験をしました。事前にデザインを考えて作品作りに取り組みました。どの生徒も童心に帰って、真剣に粘土に触って形を整えていました。中にはイメージ通りにいかず、デザイン変更する生徒もいましたが、最後には素敵な作品が完成しました。約40日後に、色付け焼成されたオリジナル作品がお披露目となります。

